

2011年3月期 第2四半期 決算説明資料



KANEMATSU CORPORATION

2010年11月11日

本説明会・資料における当社グループの今後の計画・見通し・戦略等、将来に関する記載は、当社が現時点において把握可能な情報をもとに判断したものであり、これらは様々なリスクや不確実性が内在しております。
従って、経営環境の変化、未知のリスクの顕在化、およびその他様々な要因により、実際の業績等の結果は大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。



1

2011年3月期 第2四半期決算説明



2011年3月期 第2四半期決算ハイライト (P/L項目)

前年同期比で増収増益

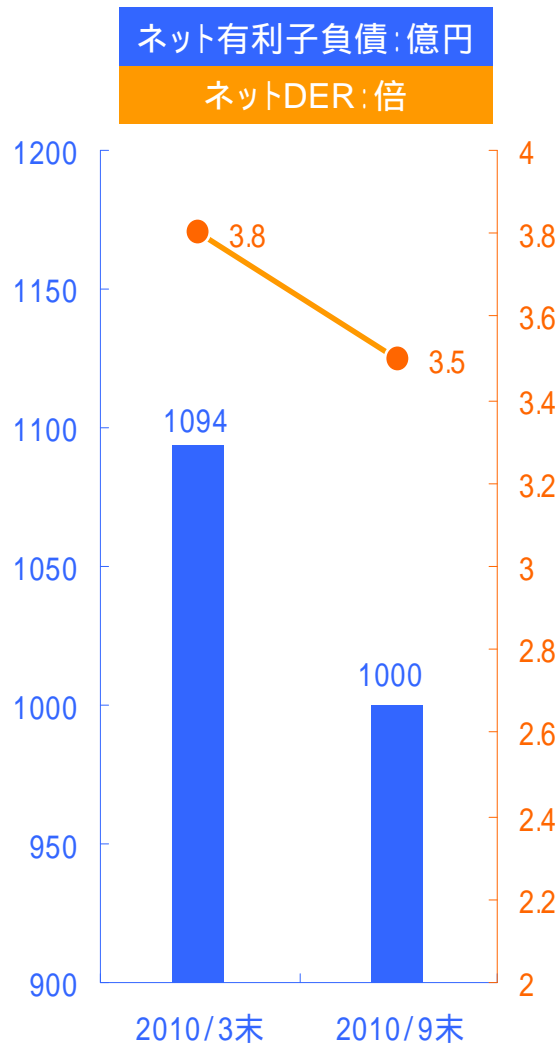
(億円)	2010年3月期 第2四半期	2011年3月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	4,207	4,546	+339	+8%
営業利益	64	92	+28	+44%
経常利益	46	76	+30	+66%
当期純利益	17	40	+23	+131%

半導体市況改善や子会社業績が順調だった電子・ITの堅調推移が寄与。
コスト管理の徹底により、販管費削減。
当期純利益は前年同期比で約2.3倍の増益。



2011年3月期 第2四半期決算ハイライト (B/S項目)

ネット有利子負債は1,000億円を切る水準に



(億円)	2010/3末	2010/9末	増減額	増減率
総資産	3,986	3,888	-98	-2%
純資産	458	456	-2	-
自己資本 ^(注1)	289	287	-2	-
自己資本比率 ^(注2)	7.3%	7.4%	0.1pt 改善	
グロス有利子負債	1,931	1,771	-160	-8%
ネット有利子負債	1,094	1,000	-94	-9%
ネットDER ^(注3)	3.8倍	3.5倍	0.3 改善	

注1: 自己資本 = 純資産 - 少数株主持分

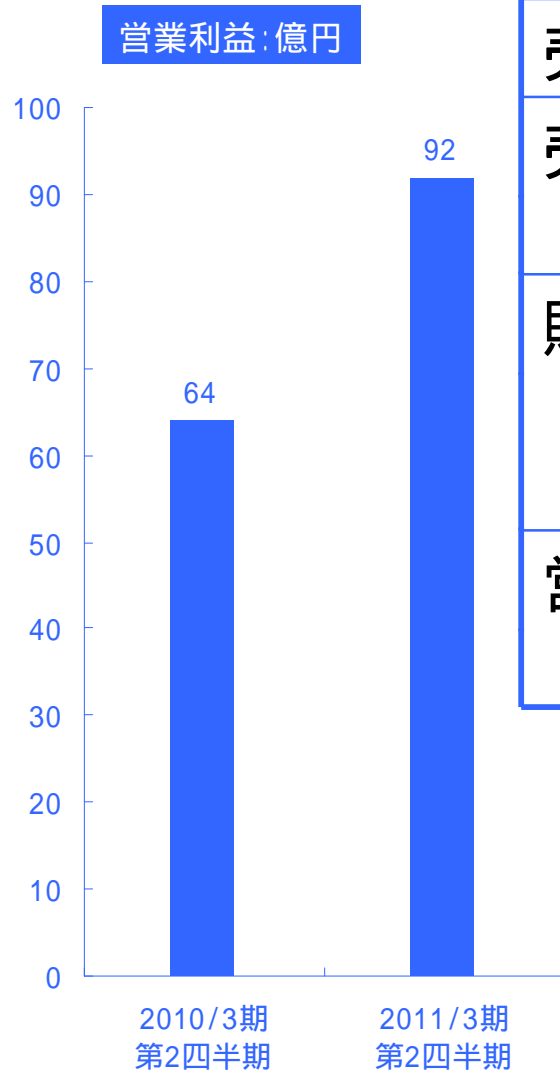
注2: 自己資本比率 = 自己資本 / 総資産

注3: ネットDER = ネット有利子負債 / 自己資本

総資産減少や有利子負債削減にともない、
自己資本比率・ネットDERともに改善。



2011年3月期 第2四半期決算概要(P/L)



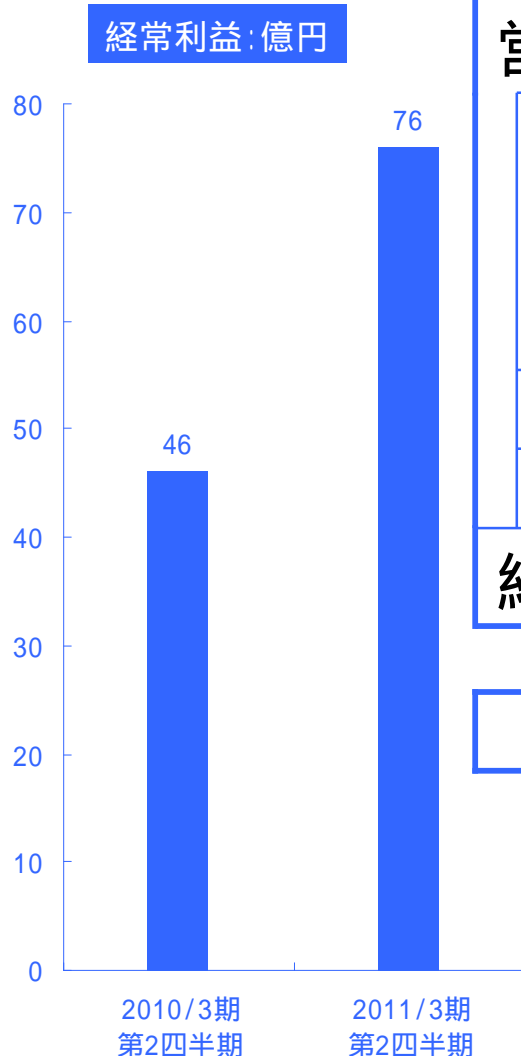
(億円)	2010年3月期 第2四半期	2011年3月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	4,207	4,546	+339	+8%
売上総利益	374	380	+5	+1%
売上総利益率	8.9%	8.4%	-0.5pt	
販管費	310	287	-23	-7%
人件費	162	149	-13	-8%
物件費他	148	138	-10	-7%
営業利益	64	92	+28	+44%
営業利益率	1.5%	2.0%	+0.5pt	

電子・IT、機械・プラントを中心に増収増益。

コスト管理を徹底し、販管費は7%削減。



2011年3月期 第2四半期決算概要(P/L)



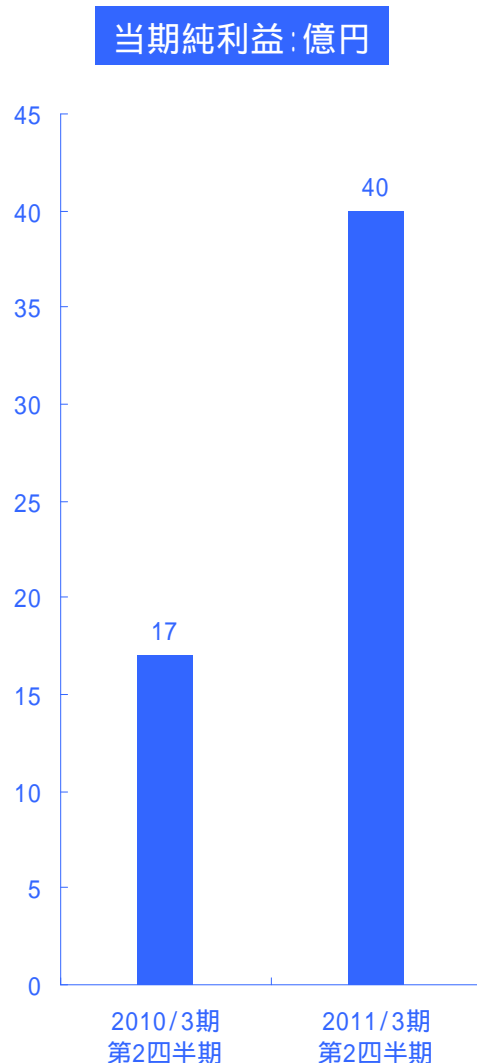
(億円)	2010年3月期 第2四半期	2011年3月期 第2四半期	増減額	増減率
営業外収支	-18	-16	+2	-
金融収支	-16	-11	+5	-
受取利息	4	3	-1	-25%
受取配当金	3	7	+4	+133%
支払利息	-22	-21	-1	-
持分法損益	-6	-4	+2	-
その他営業外収支	3	-2	-5	-
經常利益	46	76	+30	+66%
基礎的収益力()	43	79	+36	+83%

() 基礎的収益力 = 営業利益 + 貸倒引当金繰入額 + 受取配当金 + 金利収支 + 持分法損益

金融収支・持分法損益の改善などにより、
営業外収支が良化。



2011年3月期 第2四半期決算概要 (P/L)



(億円)	2010年3月期 第2四半期	2011年3月期 第2四半期	増減額	増減率
特別損益	-1	-7	-6	-
特別利益	6	4	-2	-33%
特別損失	-7	-10	-3	-
税引前利益	45	69	+25	+56%
法人税等	-20	-21	-1	-
少数株主利益	-7	-7	-	-
当期純利益	17	40	+23	+131%

投資有価証券評価損や資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額を計上。

営業利益段階までの良化が寄与し、純利益は大幅増益。

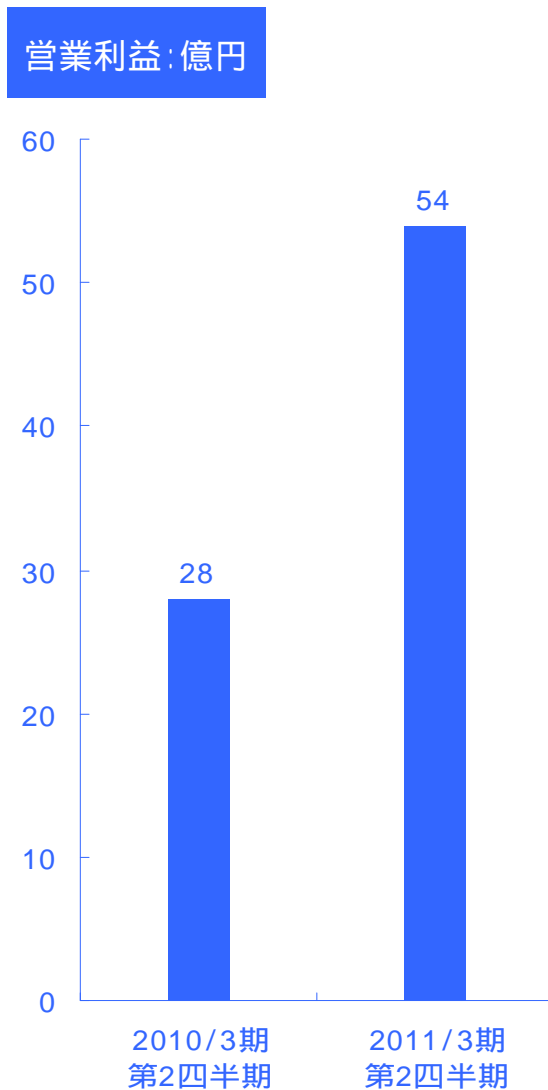


2011年3月期 第2四半期決算概要 (セグメント別実績)

(億円)	2010年3月期 第2四半期	2011年3月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高 (外部売上高)	4,207	4,546	+339	+8%
電子・IT	1,141	1,276	+135	+12%
食品・食糧	1,365	1,404	+39	+3%
鉄鋼	432	464	+32	+7%
機械・プラント	276	305	+29	+11%
環境・素材	913	1,013	+101	+11%
その他(含む調整額)	80	83	+3	+4%
営業利益	64	92	+28	+44%
電子・IT	28	54	+26	+93%
食品・食糧	16	13	-3	-19%
鉄鋼	17	15	-2	-12%
機械・プラント	-5	5	+10	黒字転換
環境・素材	5	4	-1	-20%
その他(含む調整額)	3	1	-2	-67%



2011年3月期 第2四半期実績(電子・IT)



(億円)	2010/3 2Q実績	2011/3 2Q実績	増減額	増減率
売上高	1,141	1,276	+135	+12%
売上総利益	192	208	+16	+8%
営業利益	28	54	+26	+93%

2011年3月期 第2四半期実績のポイント

半導体装置・電子部品は、半導体需要の回復を背景に大きく改善、機構部品も順調に推移し、増収増益。

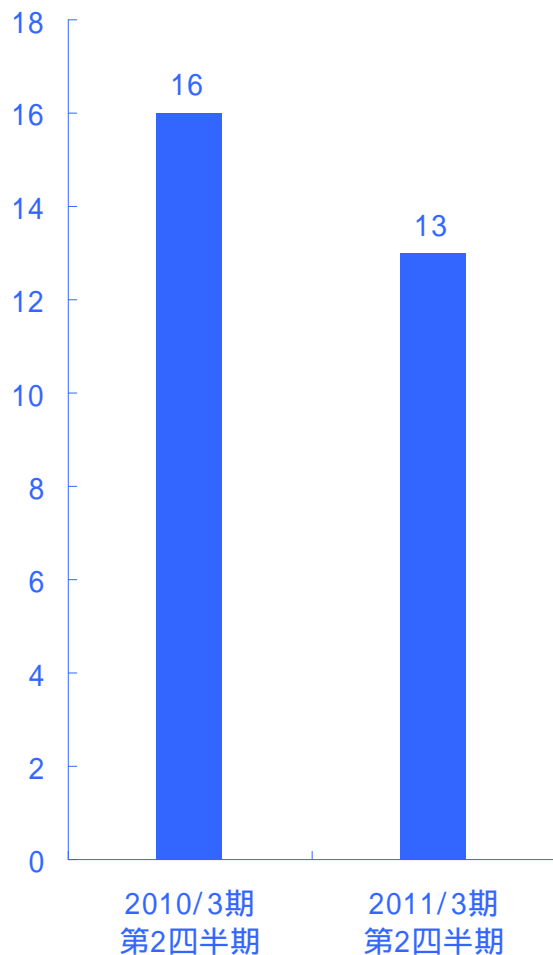
ICTソリューション事業は、売上は微増に留まったものの、コスト削減が寄与し増益。

モバイル事業は、販売数量が減少したものの、増益確保。



2011年3月期 第2四半期実績(食品・食糧)

営業利益: 億円



(億円)	2010/3 2Q実績	2011/3 2Q実績	増減額	増減率
売上高	1,365	1,404	+39	+3%
売上総利益	61	55	-6	-10%
営業利益	16	13	-3	-19%

2011年3月期 第2四半期実績のポイント

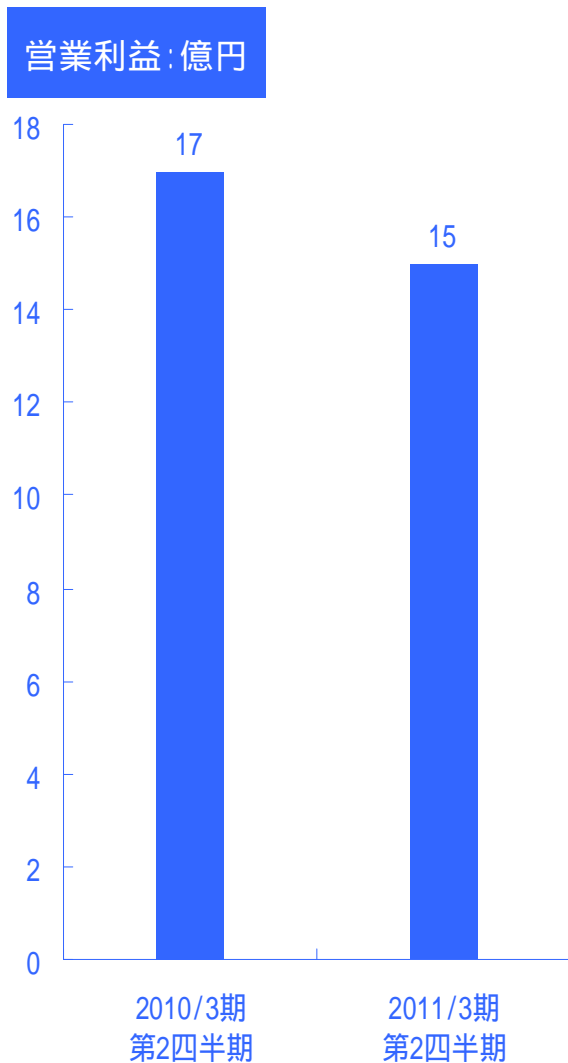
飼料・穀物は国内販売不振のため、売上高は小幅増加に留まる。

食品事業は需給環境が安定して、全般的に好調。
畜水産事業も安定的な取引関係をベースに、着実に収益を計上。

食糧事業は、海外穀物市況が高騰する一方、国内飼料生産の減少や、デフレによる大豆製品の価格下落などの外部環境から利益面でも苦戦。



2011年3月期 第2四半期実績(鉄鋼)



(億円)	2010/3 2Q実績	2011/3 2Q実績	増減額	増減率
売上高	432	464	+32	+7%
売上総利益	37	33	-4	-11%
営業利益	17	15	-2	-12%

2011年3月期 第2四半期実績のポイント

欧米向け自動車用線材及びステンレス製品など、特殊鋼の輸出取引は堅調に推移。

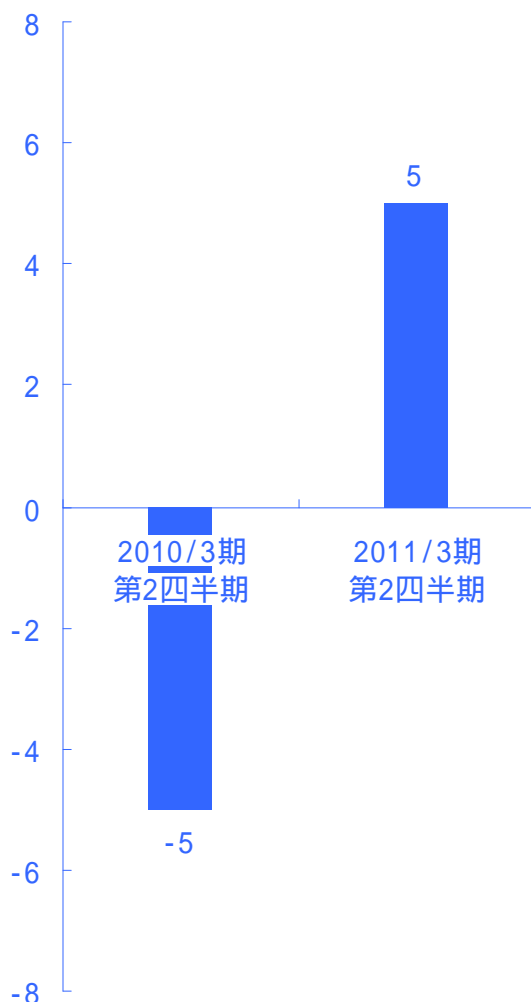
北米向け鋼管の輸出取引は回復傾向。

円高の影響による韓国・欧州勢との競争激化により一部中東向け鋼板の輸出取引が苦戦。



2011年3月期 第2四半期実績(機械・プラント)

営業利益: 億円



(億円)	2010/3 2Q実績	2011/3 2Q実績	増減額	増減率
売上高	276	305	+29	+11%
売上総利益	26	31	+5	+19%
営業利益	-5	5	+10	黒字転換

2011年3月期 第2四半期実績のポイント

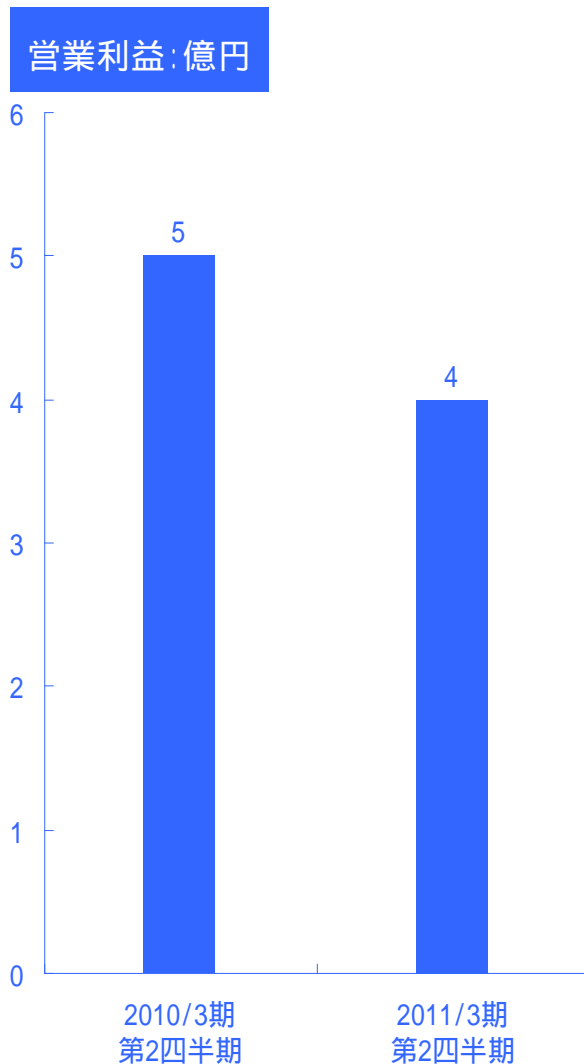
中東向けプラント関連取引は好調に推移。

輸送機ビジネスは、中国向けを中心に自動車関連部品取引が堅調に推移。

工作機械・産業機械事業は、緩やかな受注環境回復に伴い取扱高増加し、太陽電池用シリコンウェハー加工事業も堅調に推移。



2011年3月期 第2四半期実績(環境・素材)



(億円)	2010/3 2Q実績	2011/3 2Q実績	増減額	増減率
売上高	913	1,013	+101	+11%
売上総利益	43	40	-3	-7%
営業利益	5	4	-1	-20%

2011年3月期 第2四半期実績のポイント

機能性化学品事業では、車載用電池原料の輸出取引や、潤滑油添加剤の輸入取引が堅調に推移。

石油事業においては、国内の需要低迷や市況下落により採算が悪化し、減益。



2

2011年3月期 通期見通し説明



2011年3月期 通期見通し

通期見通しを上方修正

(億円)	2010年3月期 通期実績	2011年3月期 通期見通し (11月5日修正)	増減額	増減率	(参考) 期初公表 見通し
売上高	8,613	8,500	-113	-1%	8,500
営業利益	122	160	+38	+31%	150
経常利益	82	110	+28	+34%	100
当期純利益	35	50	+15	+43%	45

円高・新興諸国の政治リスク・先進国景気の先行きなど、不確実な状況が継続することを想定、小幅に上方修正。

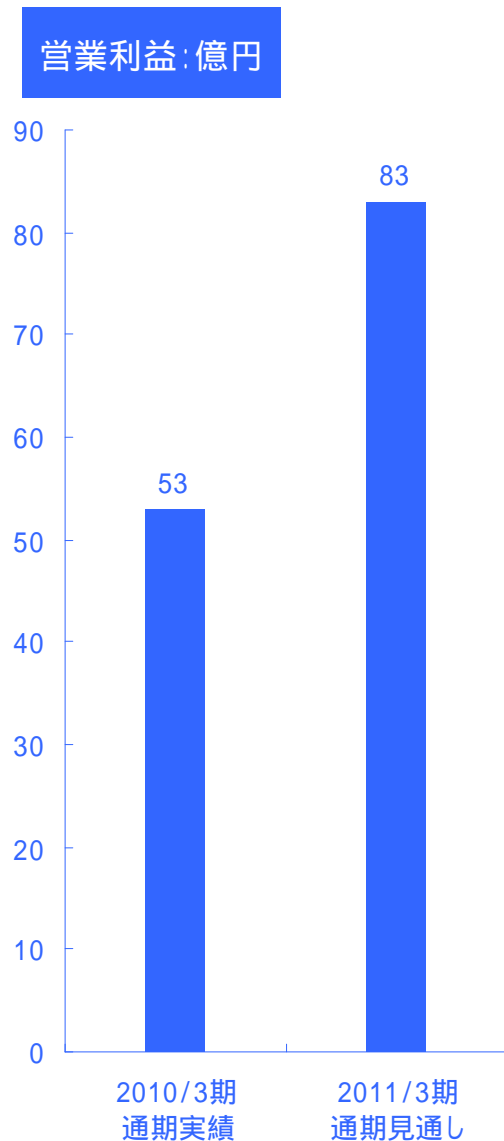


2011年3月期 通期見通し(セグメント別見通し)

(億円)	2010年3月期 通期実績	2011年3月期 通期見通し (11月5日修正)	増減額	増減率	(参考) 期初公表 見通し
売上高 (外部売上高)	8,613	8,500	-113	-1%	8,500
電子・IT	2,327	2,300	-27	-1%	2,300
食品・食糧	2,642	2,700	+58	+2%	2,700
鉄鋼	879	900	+21	+2%	900
機械・プラント	613	550	-63	-10%	550
環境・素材	1,981	1,900	-81	-4%	1,900
その他(含む調整額)	170	150	-20	-12%	150
営業利益	122	160	+28	+31%	150
電子・IT	53	83	+30	+57%	70
食品・食糧	36	33	-3	-8%	40
鉄鋼	24	25	+1	+4%	25
機械・プラント	-9	7	+16	黒字転換	0
環境・素材	9	9	±0	-	9
その他(含む調整額)	8	3	-5	-62%	6



2011年3月期 通期見通し(電子・IT)



(億円)	2010/3	2011/3			
	通期実績	2Q実績	見通し	通期増減額	通期増減率
売上高	2,327	1,276	2,300	-27	-1%
売上総利益	385	208	403	+18	+5%
営業利益	53	54	83	+30	+57%

2011年3月期 通期見通しのポイント

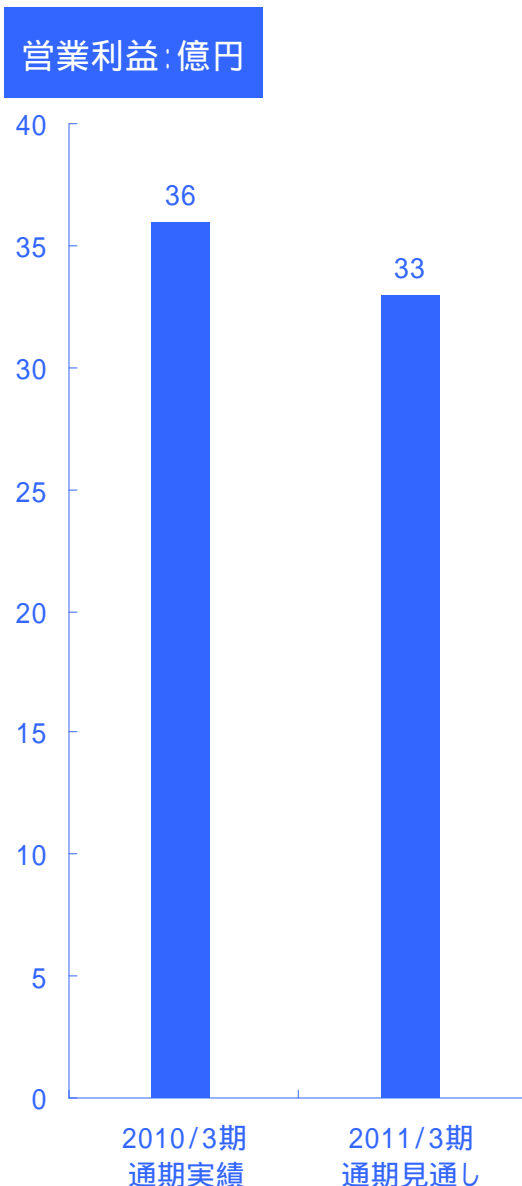
半導体部品・装置事業は、需要回復を追い風に好調に推移しており、下期も継続見込み。

ICT・ソリューション事業は、コスト削減も寄与し堅調に推移する見込み。クラウドなど新市場での開拓にも注力。

モバイル事業は、新規大型出店や新機種導入を追い風に、利益の積上げを狙う。



2011年3月期 通期見通し(食品・食糧)



(億円)	2010/3	2011/3			
	通期 実績	2Q 実績	通期 見通し	通期	
				増減額	増減率
売上高	2,642	1,404	2,700	+58	+2%
売上総利益	126	55	123	-3	-2%
営業利益	36	13	33	-3	-8%

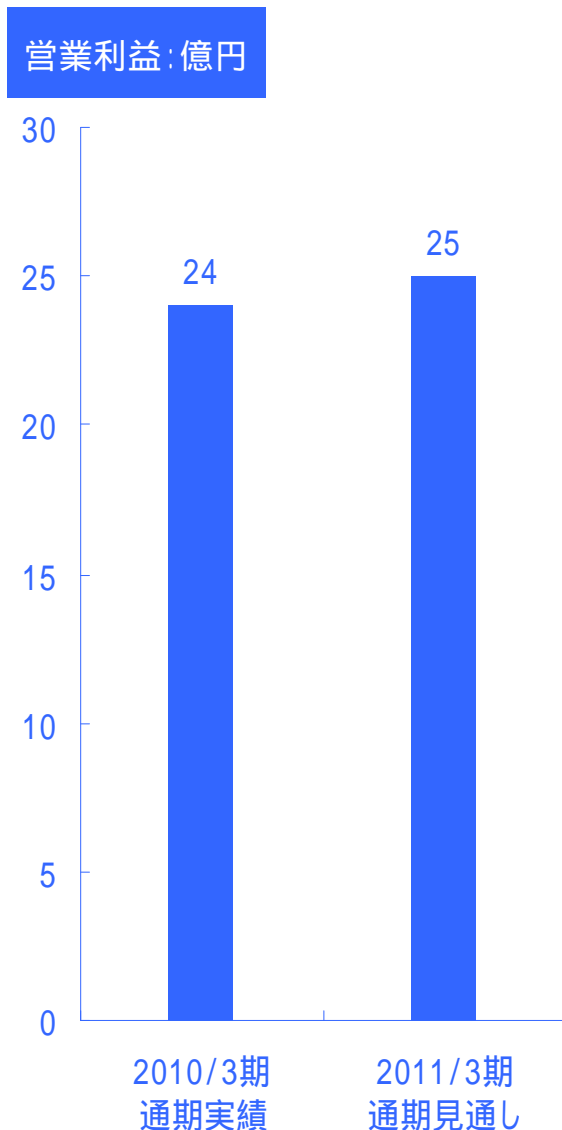
2011年3月期 通期見通しのポイント

食品事業は、飲料原料・畜水産物、コンビニ向けなど高付加価値商材の安定供給を通じて、取引を維持・拡大。

食糧事業は、飼料・穀物共に厳しい市場環境の継続が予想される中、販売増加に注力。



2011年3月期 通期見通し(鉄鋼)



(億円)	2010/3	2011/3			
	通期実績	2Q実績	通期見通し	増減額	増減率
売上高	879	464	900	+21	+2%
売上総利益	63	33	65	+2	+3%
営業利益	24	15	25	+1	+4%

2011年3月期 通期見通しのポイント

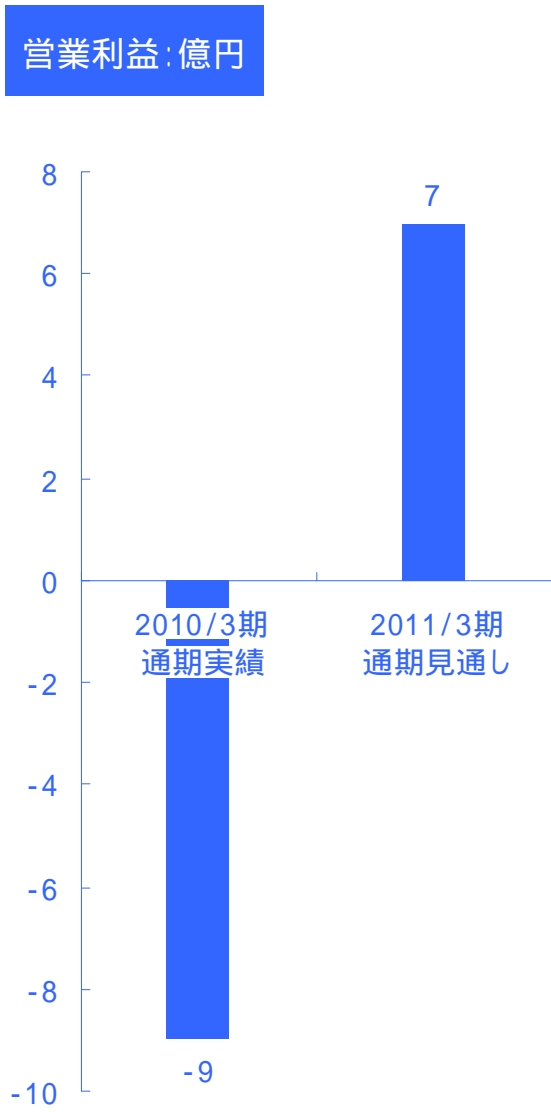
北米向け鋼管及び高付加価値ステンレス製品の販売が、下期も堅調に推移する見込み。

自動車関連向け特殊鋼製品取引は、欧米を主として需要が回復、下期も安定的な供給を見込む。

国内鉄鋼については未だ内需回復に至らず、下期以降の改善に期待。



2011年3月期 通期見通し(機械・プラント)



(億円)	2010/3	2011/3			
	通期実績	2Q実績	見通し	通期増減額	通期増減率
売上高	613	305	550	-63	-10%
売上総利益	54	31	64	+10	+19%
営業利益	-9	5	7	+16	黒字転換

2011年3月期 通期見通しのポイント

自動車関連部品、プラント関連取引は堅調に推移する見込み。

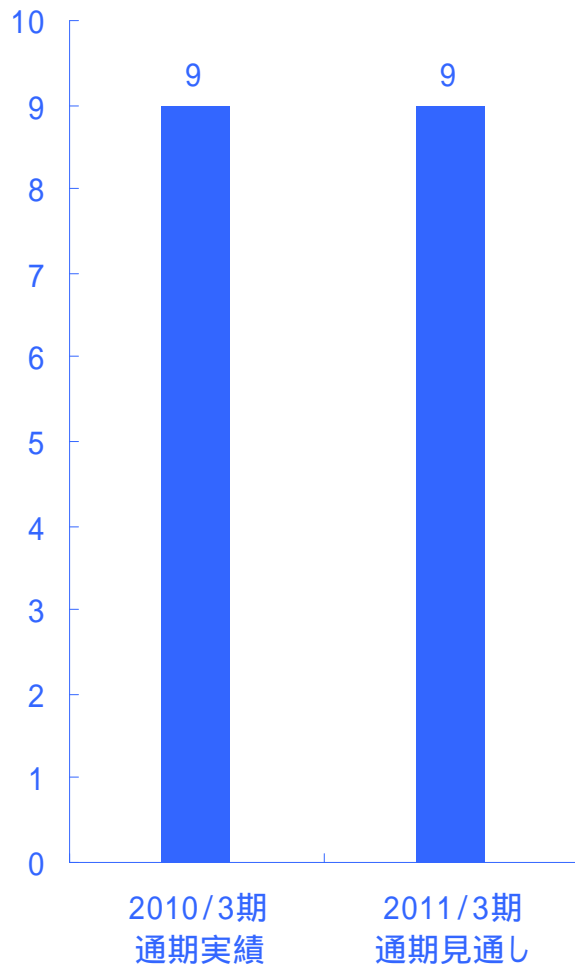
工作機械・産業機械事業については、回復基調にある受注環境を背景に既存商権の維持・拡大を図る。

円高の影響、景気動向等の減益要因があるが、着実な収益積上げを目指す。



2011年3月期 通期見通し(環境・素材)

営業利益: 億円



(億円)	2010/3	2011/3			
	通期実績	2Q実績	通期見通し	増減額	増減率
売上高	1,981	1,013	1,900	-81	-4%
売上総利益	85	40	85	±0	-
営業利益	9	4	9	±0	-

2011年3月期 通期見通しのポイント

太陽電池モジュールの輸入販売伸張に注力。

ライフサイエンス事業は、免疫ミルクの販売が引続き堅調な見通し。

石油事業は、下期が必要期となることから収益の回復を見込む。



Appendix

中期経営計画 “S-Project”

	teamKG120	“S-Project”		
(億円)	2010年3月期 実績	2011年3月期 計画	2012年3月期 計画	2013年3月期 計画
売上高	8,613	8,500	9,500	10,500
売上総利益	741	750	775	800
販管費	619	600	605	610
営業利益	122	150	170	190
経常利益	82	100	120	140
当期純利益	35	45	55	65



1

中期経営計画 “S-Project”






(億円)	teamKG120	“S-Project”		
	2010年3月期 実績	2011年3月期 計画	2012年3月期 計画	2013年3月期 計画
総資産	3,986	4,000	4,040	4,100
自己資本	289	330	385	450
自己資本比率	7.3%	8.3%	9.5%	10%超
グロス有利子負債	1,931	1,850	1,770	1,690
グロスDER (倍)	6.7	5.6	4.6	3.8
現預金	837	850	850	850
ネット有利子負債	1,094	1,000	920	840
ネットDER (倍)	3.8	3.0	2.4	2.0倍程度



1

中期経営計画 “S-Project”

	teamKG120	“S-Project”		
(億円)	2010年3月期 実績	2011年3月期 計画	2012年3月期 計画	2013年3月期 計画
売上高	8,613	8,500	9,500	10,500
電子・IT	2,327	2,300	2,450	2,600
食品・食糧	2,642	2,700	3,000	3,300
鉄鋼	880	900	1,000	1,150
機械・プラント	613	550	650	700
環境・素材	1,981	1,900	2,250	2,600
その他(含む調整額)	170	150	150	150
営業利益	122	150	170	190
電子・IT	54	70	75	80
食品・食糧	36	40	45	50
鉄鋼	24	25	30	35
機械・プラント	9	0	2	4
環境・素材	9	9	12	15
その他(含む調整額)	7	6	6	6

事業セグメント	主要な事業	主要取扱商品	主要グループ会社
電子・IT 	半導体部品・装置	半導体・電子部品、電子モジュール・部材、半導体・液晶装置	兼松エレクトロニクス 兼松コミュニケーションズ 日本オフィス・システム 兼松エアロスペース 新東亜交易
	機構部品	車載部品、プリンタ関連機器、電子モジュール	
	ICT・モバイル	システムソリューション、通信機器・部品 携帯通信端末、モバイルコンテンツ、モバイル広告	
	航空宇宙	航空機、航空機部品	
食品・食糧 	食品	缶詰・冷凍・ドライフルーツ、ワイン、コーヒー、ココア、砂糖、胡麻、落花生、雑豆、蜂産品、ナッツ、種実類、油脂、乳製品、加工食品	兼松食品 兼松アグリテック 兼松ソイテック 新東亜交易
	畜水産	畜産物、水産物	
	穀物油脂・飼料酪農	小麦、大麦、米、大豆、加工食品、飼料、肥料、ペットフード、ペット用品	
鉄鋼 	鉄鋼貿易	表面処理鋼板、シームレスパイプ	SSOT 兼松トレーディング
	特殊鋼貿易	ステンレス、特殊鋼線材・条鋼	
	鋳鍛造品	精密鍛造品	
	国内鉄鋼・鉄鋼原料	鉄鋼製品全般、鉄鉱石、コークス	
機械・プラント 	輸送機	自動車、船舶、船舶用機材	兼松ケージーケイ
	プラント・インフラプロジェクト	各種プラント、通信案件、ODA案件、光ファイバー、電力プロジェクト	
	工作機械・産業機械	工作機械、産業機械	
環境・素材 	原油・石油製品・ガス	原油、石油製品、LPG、排出権取引	兼松ペトロ 兼松ケミカル 兼松ウェルネス
	機能性化学品	リチウム電池原料、太陽電池関連部材、石油化学製品	
	ライフサイエンス	医薬品、医薬中間体、機能性食品素材、栄養補助食品	

2-1: 主要連結対象会社の売上高

(億円)	事業	持分比率	2010年3月期 第2四半期	2011年3月期 第2四半期	増減額
兼松エレクトロニクス	ICTソリューション	58.28%	218	229	+4
兼松コミュニケーションズ	モバイル	100%	471	470	-1
兼松食品	食品・畜水産	100%	89	89	-
兼松アグリテック	飼料酪農	100%	54	46	-8
兼松トレーディング	国内鉄鋼 鉄鋼原料	100%	211	215	+3
兼松ケージーケイ	工作機械 産業機械	97.90%	153	155	+2
兼松ペトロ	石油製品・ガス	100%	536	624	+88
兼松ケミカル	機能性化学品	100%	82	89	+7
新東亜交易	商社	100%	602	545	-57
Kanematsu USA Inc.	海外現地法人	100%	427	437	+10

2-2: 従業員の状況

(人)	2010年3月末	2010年9月末	増減	増減率
単 体	850	846	-4	-1%
連結子会社	4,021	4,168	+147	+4%
合 計	4,871	5,014	+143	+3%

従業員は就業人員数
 (当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含む)

3-1: 連結会社の黒字・赤字会社数推移状況

(社数)	2010年3月期 第2四半期					2011年3月期 第2四半期					前期比
	連結		持分		合計	連結		持分		合計	
	国内	海外	国内	海外		国内	海外	国内	海外		
黒字会社	21	17	5	10	53	29	35	8	7	79	26社増
黒字比率	46%	41%	31%	56%	43%	74%	85%	50%	44%	71%	+28pt
赤字会社	25	25	11	8	69	10	6	8	9	33	36社減
合計	46	42	16	18	122	39	41	16	16	112	10社減

3-2: 連結会社の黒字・赤字額推移状況 (連結調整を加味しない単純合算ベース)

(億円)	2010年3月期 第2四半期					2011年3月期 第2四半期					前期比
	連結		持分		合計	連結		持分		合計	
	国内	海外	国内	海外		国内	海外	国内	海外		
黒字額	15	4	1	1	21	17	7	1	0	25	+4億円
赤字額	-6	-3	-6	-2	-17	-2	-0	-5	-0	-7	+10億円
合計	9	1	-5	-1	4	15	7	-4	0	18	+14億円